

卒業研究 (ITアドバンス)		演習	教授 樽井 勇之
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目	科目ナンバリング	21300401

1. テーマ

情報通信技術とプログラミングの修得

2. ゼミのねらい・概要

各自が選択したテーマに従って、自主的に研究を進める。コンピュータ教室の利用と併せて2号館4階の研究室も利用する。わからないところがある場合もできるだけ自分で調べて解決するようにすること。

3. ゼミ計画

〈前期〉	〈後期〉
1. ガイダンス	1. ガイダンス
2. 論文とは	2. 研究の準備
3. テーマ説明	3. 研究の実施1
4. 情報収集	4. 研究の実施2
5. Webによる論文検索	5. 研究の考察
6. 研究の進め方	6. 研究のまとめ
7. 論文の読み方	7. 論文指導 第1章
8. 論文の形式	8. 論文指導 第2章
9. 論文の概要	9. 論文指導 第3章
10. 論文の構成	10. 論文指導 第4章
11. 課題の抽出	11. 論文指導 第5章
12. 課題の検討	12. 論文指導 まとめ
13. 課題へのアプローチ	13. プレゼンテーション準備
14. 研究計画	14. プレゼンテーション練習
15. まとめ	15. まとめ

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

研究に必要な参考文献の調査やまとめ、システム開発などに1時間以上を必要とする。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

研究進捗の口頭発表、中間発表および最終発表の際、個別に講評（不足している点や今後取組むべき点など）をコメントする。また、卒業論文を提出した後も、個別に講評（残された課題や今後進むべき方向性など）をコメントする。なお、コメントの通知方法については事前に連絡する。

6. ゼミにおける学修の到達目標

情報技術により解決できる問題を探し、独創的な解決手段を実施した結果について論文としてまとめられるようになること。

7. 成績評価の方法・基準

卒業論文の内容（60％）およびゼミに対する取組み姿勢（40％）。

8. テキスト・参考文献

各自の研究テーマに応じて個別に指示する。

9. 受講上の留意事項

卒業論文を執筆することを前提に、収集した資料論文や参考文献、開発したプログラムや関連文書等をきちんとまとめておくこと。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。